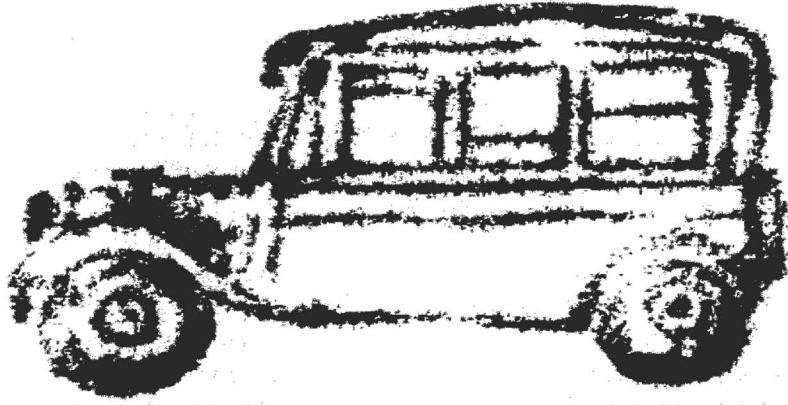


流星



題字 河村 先生 (元部長・故人)
イラスト 伊東 (44)

流星 第34号 (OB会誌21号)

目次

巻頭言	部顧問	森	教授	3
所感	会長	伊東	(44)	4
<現役報告>				
新幹部挨拶、部員名簿、新入部員挨拶				5
2022年度自動車部活動結果報告				7
2023年度自動車部活動計画				12
第60回 ACK・KIT北九州ラリー詳報				13
<現役支援活動>				
現役支援サポート隊の取り組みについて	現役交流担当	山下	(H1)	14
<OB会>				
2022年度活動報告	事務局	中西	(50)	17
2022年度決算報告	会計	武地	(II 51)	18
会計監査報告	会計監査	田中	(45)	19
2023年度活動計画、役員人事	事務局	中西	(50)	20
2023年度予算	会計	武地	(II 51)	22
2022年度会費、部活動援助費、OB会カンパ振り込み状況				23
再予告 第11回OB会総会開催について	中京地区幹事	川越	(47)	25
寄稿 40年分の自動車雑誌	関西地区	橘	(40)	26
OB会事務局だより「OB会の継続発展のための活動」	及び「OB会総会歴」紹介			
	OB会事務局	中西	(50)	27
ニュース 明専会2020基金事業 部活動応援事業 受賞				29
会員名簿 (物故者含む)				30
編集後記				31

【重要】住所やE-mailアドレスが変更になった方は、OB会に速やかにご連絡願います。

1. はじめに

COVID19は早くも数年を経て身の回りのあらゆる生活を変え大学もその波に巻き込まれております。顧問を引き継ぎまして数年間が経過しておりますがこのような事態に直面して困惑すると共に今後の大学生活や部活動のありかたも根底から考え直し新たなステージに突入しています。新たな生活スタイルはまだまだ定着しておらず人的交流と感染の綱引きを繰り返しており終息に至る道筋は見えておりません。

2. 就職担当について

本学HPに依りますと「学部・大学院とも、各学科・専攻またはコースにそれぞれ就職担当教員を配置し、就職希望学生(学部4年生・大学院博士前期2年生)に対して、就職先が決定するまで責任を持って就職活動の指導をする体制をとっています」という表現になっています。またOB支援として「明専会は、九州工業大学と協同でキャリア育成セミナーを企画・実施しています。国内の優良企業からOB・OGがセミナーに参加し、自分に合った企業選びから、各業界の技術・研究者の業務内容等について、就職の参考になる情報を分かりやすく教授しています」と有り強力なOB支援が有りましてこれは大変、学生諸君にとって支援になっております。

「メリット、デメリット」

このように学内外から各種支援が有りますが、その反面 学生諸君には最近、周囲に頼るのみの消極的な面も散見されます。自分の人生は最後には自信で切り開く「気概」が年々減っていく感触が有ります。

「今後の展開」

現在、海の向こうでは敏腕経営者がいきなり従業員を半分解雇し、更にはハードワーク不可避でありこれを受け入れないと雇用しないと宣言しています。国内の企業特に製造業などでは有り得ない雇用に関する事例ですが、最近の為替や世界情勢を鑑みると他人ごとではないと思う次第です。

このような事態が常用化されると早晩国内企業への影響は避けられず今後の就職の有り方までも変える可能性があるかと認識しており行方を注視しています。

3. 学内の変化について

「講義や行事の状況」

11月19日付けの 福岡県内の感染状況は2212名の患者情報が報告されています。新規感染者の所管自治体別内訳は、福岡市687人、北九州市319人、久留米市147人、県1023人。県が配布した抗原検査キットでは36人の陽性が判明とのこと。第8波ともなれば再度、行動制限となり近隣の大学においてもクラスターが発生しており本学内でもいつ発生してもおかしくない状況です。部活動については競技団体等のガイドライン、施設、設備、器具を点検・活動計画書を作成し、大学で確認の上現在99団体が段階的に活動を再開していますがこれも再度制限されそうです。

「学会等の学外行事」

学会等は最近WEBと対面の複合方式になりましたが別の課題が噴出しており主催側の負担になっています。学会の楽しみといえば懇親会でしたが、これらが無くなり研究者との交流が淡白になったという感じです。特に旧い世代には「物足りない」というのが皆さんの意見です。研究活動の収縮も危惧されます。

4. さいごに

コロナ禍が長引くと部活動も安心できない状況です。OBの皆様にはこのような環境を考慮いただきまして幅広く、気長に、大盤振る舞いのサポートをお願いしたく存じます。

次年度にて小職は定年となり本学を去ることになります。最近「終活」と「就活」を視野に入れて活動しようとしています。とは言っても就職担当業務と学内や学外に多くの課題やプロジェクトを抱えており容易に「脚を洗えない」状況であります。

ウクライナに想う

自動車部OB会 会長 伊東 (44)

今年2月に突如として始まったウクライナへのロシアによる特別軍事作戦は何と言おうともプーチン大統領による戦争である。第二次世界大戦の敗戦後70年間平和を享受してきた日本の我々からするとまさに青天の霹靂とも言えるものであった。しかし戦後の東西冷戦のなかにあってはベトナム戦争、湾岸戦争、9・11テロ、アフガニスタン侵攻など世界では様々な戦争が繰り広げられてきた。そしてそのどれもが何一つ解決することなく、不幸な国とそこに生きる人々の苦難を強いたままで、多くの難民を生み厳しい生活を余儀なくされて現在に至っている。尊い命が奪われ、街が破壊されていくウクライナの今後を思うと一日も早い戦争の終結を願うばかりであるが、国家の存亡をかけた戦いには遠い日本からは想像もつかない覚悟と矜持が国民の間にも広がり共生していると感じられる。

それにしても連日報道されるウクライナの状況と、ロシアの戦車の映像をみると自分にはチェコスロヴァキアのことを思い出される。現在はチェコとスロヴァキアは分かれてチェコ共和国となっているが、当時のチェコスロヴァキアはソビエト連邦を中心とする社会主義体制の中に組み込まれていた。1964年東京オリンピックが開催された。当時の日本は、もはや戦後ではないと新幹線の開業など建設業をはじめ高度経済成長を謳歌していた。そのオリンピックで女子体操の選手にチェコスロヴァキア代表のベラチャスラフスカ選手がいた。チャスラフスカ選手はその華麗な演技で金メダル3個を獲得し一躍東京オリンピックの名花と称えられ、母国に帰っても国民的英雄とされた。オリンピック後の1968年チェコスロヴァキアでは、言論の自由、旅行の自由、共産主義体制からの脱却を目指して大きな民主化運動の波が国民の中に湧き上がっていた。プラハのバートラフ広場では数万の人々がデモを繰り広げていた。しかしソビエト連邦とワルシャワ機構軍はこの動きを阻止しようとプラハをはじめチェコスロヴァキア全土に戦車で侵攻し民主化運動を弾圧した。こ

の時、民主化運動の象徴として活動していたのがメキシコオリンピックを目前に活躍していたチャスラフスカ選手でした。チェコスロヴァキアの国民は武器での戦いは選択せずに言論での戦いを始めました。数々の重圧を跳ね返してオリンピックに参加したチャスラフスカ選手は抗議の濃紺のレオタードで参加し4個の金メダルを獲得しソビエト連邦の選手を下しました。しかし、その後は地下生活を余儀なくされるなど苦難の20年を過ごしました。

その間、民主化運動の波は深く静かに国民の間に進行していました。社会主義体制の中でもほころびが目立ち始めソビエト連邦ではゴルバチョフ政権が誕生し、ペレストロイカの波が押し寄せていました。そして1989年ベルリンの壁の崩壊とともに東欧諸国の民主化は一気に進みチェコスロヴァキアも新しい大統領のもと民主共和国が誕生しビロード革命と言われました。チャスラフスカさんも復権を果たし、大統領補佐官、オリンピック委員会総裁を務めることとなります。彼女は大の日本虜を自認し何度も日本を訪れてチェコ日本友好協会総裁も務められました。私もドボルザークやスメタナの祖国としてチェコと音楽の交流を続けていましたが、チェコ大統領が大分へ表敬訪問されるのにあわせて結成された大分チェコ友好協会の副会長として4度ほどチェコを訪問し、温泉友好都市締結や、大分の高校生ブラスバンド選抜200名による演奏旅行でマーチングやドボルザークホールでの演奏会などを行いました。その中でチャスラフスカさんの知遇を得て援助協力を頂けたことは忘れられません。2014年には東京オリンピック招致委員会の招聘により訪日された折、大分県にもお招きし不屈の闘志で戦ったチェコスロヴァキアの民主化、ビロード革命の生の声を聴くことができ大きな感銘を受けたことを思い出します。チャスラフスカさんはその2年後プラハで74歳の生涯を閉じられましたが、ウクライナでのロシア軍の戦車をみるとチェコのバートラフ広場の建物に残った銃弾の跡を思い出します。

新幹部挨拶

主将

2年 山口

この度主将を務めることとなりました、第83回主将の山口 と申します。2年生からこの部活に入部して、まだまだ分からないことも多いのですが、学連などの様々な行事に参加しながら、結果を残して行こうと思います。

また、新型コロナウイルス感染症の対策・防止を常に心がけ、部の全員が楽しく活動できるよう環境を整えて行こうと思います。

長い歴史のある自動部の主将になれたという事に誇りを持って、この部を引っ張って行けるよう務めて参りますので、今後ともよろしくお願い致します。



主務・OB担当

黒木

次年度から主務・OB担当を務めることとなりました、黒木 と申します。1年間先輩方の大会等での活躍を間近で身として、今後の部の活動、部員の活躍をしっかりと発信していきたいと思います。

前任の柴田先輩と比べるとまだまだ未熟で不慣れな点もありますが、精一杯頑張りますので、ご指導の方よろしくお願い致します。



部員名簿 (2022年11月現在)

役職	学年	氏名	役職	学年	氏名
監督	4	藤井		1	山内
主将	2	山口		3	猪熊
ラリー委員長	2	赤嶺		3	林
会計・学連	1	川上		3	山本
主務・OB担当	2	黒木		4	柴田
車庫・学連担当	3	佐々木		M1	豊村
学連	4	鶴田		M2	長森
学連	4	松山		M2	原田
学連	3	平島			

新入部員紹介

1年 川上

私は新歓カート大会に参加して自動車部に入ることを決めました。ラリー週間という大変な時期もありますが、それ以上に車庫での整備や学連の大会が楽しいです。まだ自動車の免許は持っていませんが、今後は免許を取得して実際に走ってみたいです。



1年 山内

4月の新歓カート大会に参加して入部を決めました。自動車の知識はほとんどないですが、楽しく部活動に参加しています。11月にOBの先輩から自動車を購入したので、たくさん練習していこうと思います。



2年 黒木

元々自動車に興味があり、新入生歓迎カート大会を機に入部を決めました。ラリーやジムカーナなどで先輩方の走りを見て感嘆すると共に、いずれは自分も同じぐらいの走りができるようになりたいと思いながら活動しています。先輩方から走り方や整備の指導を受けて、いずれは部活動に多方面から奉獻できるよう、頑張りたいと思います。



2年 山口

1年次はどこの部活にも所属していませんでしたが、今年の4月に自動車部に所属しました。今後は学連の団体メンバーに入れるように、先輩方から運転技術を学んでいこうと思います。



今年の新入部員は4名でした。来年度の新入生歓迎にも力を入れ、より多くの新入部員獲得に自動車部一同努めてまいります。

2022年度 自動車部活動結果報告

2022年度 自動車部年間スケジュール

2022年	4月	新入生勧誘 体験入部（カート走行会）
	5月	全九州学生ダートトライアル大会 2022 ACK SPRING ラリー主催
	6月	ジムカーナ選考会兼練習会 全九州学生春季ジムカーナ大会
	8月	恋の浦 Rally Challenge, オートテスト主催（ACK）
	10月	工大祭 第60回 ACK・KIT北九州ラリー開催 ジムカーナ選考会兼練習会
	11月	全九州学生秋季ジムカーナ大会 幹部交代式
	12月	学内駅伝大会（予定）
2023年	3月	追い出しコンパ（予定）

2022年の主な活動内容

1. 新入生勧誘、体験入部(カート走行会)

今年度からチラシ配りや声かけが再開されました。この活動から自動車部に興味を持った新入生や2年次の生徒が車庫に見学に来てくれました。見学者には、日々の活動や自動車競技の説明を行いました。

カート走行会は6名の1,2年生が参加しました。部員からのアドバイスを聞いたり、新入生同士で話したりして、楽しく安全に走行していました。

今年度は1年生2名、2年生2名の新入部員を獲得しました。今後も継続して部員獲得に力を入れていこうと思います。



歓迎用チラシの例



走行中の様子

2. 全日本学生自動車連盟九州支部（以下、学連）が主催する

ジムカーナ・ダートトライアル大会への参戦

今年度は、ダートトライアル1戦、ジムカーナ2戦が開催されました。

各大会での成績は下記の通りです。

全九州学生ダートトライアル大会	団体の部	優 勝 / 4校中
全九州春季学生ジムカーナ大会	団体の部	優 勝 / 4校中
全九州秋季学生ジムカーナ大会	団体の部	準優勝 / 5校中

以上の結果より、2022年度年間シリーズ優勝を果たしました。これは、2019年度、2021年度に続き、3年連続の優勝となりました。今年度の目標として「3戦全てで1位になり、シリーズ優勝をすること」でしたが、秋季ジムカーナ大会で2位という結果で終わってしまいました。この悔しさを忘れずに、2023年度のための競技車両の整備や選手育成、継続的な練習を続けていこうと思います。今後とも、応援の程よろしくお願いいたします。

なお、当部から3名の連盟委員を派出し、学連の運営に携わっています。また、選手以外の部員はオフィシャル（競技役員）や選手のサポートとして、全員が大会に参加しています。



集合写真



団体戦メンバー（春季ジムカーナ）

3. 第60回 ACK・KIT 北九州ラリーの主催

JAF九州地域クラブ協議会の競技開催カレンダーの変更に伴い、ACK・KIT 北九州ラリーは、H28年シーズンよりJAF九州ラリー選手権/JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズに昇格となりました。第60回大会はシリーズ第7戦、SSラリー形式のデイルアリーとして、2022年10月29日(土)、30日(日)に福岡県築上町において、37台の参加を頂き開催しました。



第60回大会の看板



サービスパークの様子

4. 北九州オートクラブ（ACK）が主催するラリーの準備と運営

1) 2022 ACK SPRING ラリー

JAF加盟クラブ 北九州オートクラブ（ACK）の主要メンバーとして5月14日(土)、15日(日)の2Dayで開催された2022 ACK SPRING ラリーの事前準備および競技会運営全般を担当しました。今年度は初の試みとして、TRD RALLY cup by JBL 2022のジョイントカップとしても開催しました。



事前準備中の様子

2) 恋の浦Rally challenge・オートテストの準備と運営

8月7日(日)に恋の浦Rally challenge及びオートテストを開催しました。

恋の浦Rally challengeは九州のラリーを盛り上げるべく初心者の方にも参加しやすい競技会を開こうということで2019年から開催されることが決まった大会です。

当部は大会の運営を行うと共に競技へも積極的に参加しました。部員全員で協力して運営を行い、無事終えることができました。また、オートテストは昨年に引き続き開催しました。ACKの方や他のJAFクラブの方の協力で開催することができました。



競技に参加した部員達



表彰式の様子

5. 工大祭

2019年以来の対面開催となった工大祭では、模擬店を出店しました。コロナウイルス拡大防止策をしながら、毎年好評をいただいていたこ焼きを販売しました。価格はたこ焼きが1パック8個入り200円の衝撃価格です。自動車部のたこ焼きを楽しみに工大祭に来てくださった多くのお客さんが来店してくださいました。

また、今年度卒業される先輩方からは、学生最後の工大祭に参加することができてとても嬉しいし良い思い出になった、との感想を聞くことができて嬉しかったです。



営業中の様子



調理中の様子

6. 日常の部活動

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を実施しながら部活動を行っています。少しずつウイルスの脅威が収まってきていますが、気を抜かず感染防止に努めていこうと思います。

日常の部活動として、車庫前におけるフィギュア（自動車運転競技会）の練習、部車および部員車両の整備を行いました。新入部員が先輩方に教えてもらいながら、フィギュアや整備をしている姿が多く見受けられました。

活動日は月曜(18時～)と土曜(9時～)の週2日で、車庫の清掃や車庫前の草刈りなどを行い、車庫を気持ちよく利用できる環境管理も行っております。



部車の整備風景

7. オートポリスで行われるレース、

他クラブの主催するジムカーナ・ダートトライアル・

ラリー等のオフィシャル（競技役員）活動

例年、オートポリスサーキットの協力団体として、スーパー耐久、SUPER GT、およびゴールドカップレース等にオフィシャルとして参加しております。

また、地元で開催された全日本ラリー、全日本ジムカーナ、全日本ダートトライアルや他クラブ主催のジムカーナ、ダートトライアルの地区戦等にも、例年通りオフィシャルとして運営に協力しております。

8. JAF公認競技会への参加(個人)

2022年はJMRC九州ジムカーナジュニアシリーズ B-Kクラスに鶴田(4年)、B-FFクラスに原田(修士2年)、藤井(4年)、猪熊(3年)が参戦しました。また、JAF九州ラリー選手権・JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズRH-2クラスに柴田(4年、コドライバー)、RH-3クラスに原田(修士2年、コドライバー)、赤嶺(2年、コドライバー)、RH-6クラスに林(5回生、コドライバー)、藤井(4年、ドライバー)、猪熊(3年、コドライバー)が参戦しました。

恋の浦Rally challenge・オートテストにも積極的に参加しました。



RH-2クラス 河本(OB)/柴田 組



RH-5クラス 藤井/猪熊 組

2023年度自動車部活動計画

2023年	4月	・新入生勧誘 ・ダートトライアル選考会兼練習会 ・体験入部（カート走行会）
	5月	・全日本学生自動車連盟九州支部ダートトライアル選手権大会 ・2023 ACK SPRING ラリー 開催 （JAF九州選手権第3戦、JMRC九州CHシリーズ第3戦） ・ジムカーナ選考会兼練習会
	6月	・全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ選手権大会（春季） ・新入生歓迎会
	8月	・恋の浦 Rally Challenge・オートテスト開催
	9月	・部内旅行
	10月	・全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ選手権大会（秋季）
	11月	・工大祭（大学祭） ・第61回ACK・KIT北九州ラリー 開催予定 ・幹部交代式
	12月	・学内マラソン大会
2024年	3月	・追い出しコンパ

以上

第60回 ACK・KIT北九州ラリー詳細

第59代ラリー委員長 猪熊 (3年)

2022年10月29日及び10月30日に行われた第60回ACK・KIT北九州ラリーが無事終了いたしましたので報告します。

第60回という節目の大会を迎えるにあたり、大きな期待と不安を胸に準備を進めて参りましたが、大きなトラブルもなく大会を進行することが出来たと実感しております。

KITラリーは今年もスペシャルステージを主体とするTCラリーとして2022年JAF九州ラリー選手権 第7戦及び、JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ 第7戦として開催いたしました。

元々、昨年とは違う林道を使用するよう計画を進めておりましたが、計画途中の台風の影響によりその林道が使えなくなってしまい、急遽去年と同じ林道中河内線及び真如寺線を使用する運びとなりました。急な変更により、サービスパークの決定や申請関連に遅れが出てしまいましたが、先輩方やOBの方々のお力添えのもと無事開催することが出来て安堵しております。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

昨年より部員同士の反省会だけでなく、ACKの大人の方も交えてより密に反省を行うことが出来、そこでの反省を踏まえ新たな仕組みを用いるなどよりよいラリー運営に向けて準備が出来たことはとても良かったので今後も続けていけたらと思っております。

全国各地から総勢39台のエントリーを受け、盛況の内に大会を終えることができました。シリーズ最終戦にふさわしい熱戦が繰り広げられ、エントラントの方からは走りがいのある道だったなどの感想をいただくことが出来ました。

ラリーは部員の力だけではなく、OBの方々、ACKの皆様並びに林道を管轄する役場や住民の皆様の協力のもと開催できています。関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、今後とも歴史あるKITラリーを続けていけるようご指導よろしくお願い申し上げます。



現役支援サポート隊の取り組みについて

現役交流担当 山下 (H1)

今期の計画 (2021 (R3) 年10月～2022 (R4) 年9月) 及び実績

①第59回 ACK-KIT Kitakyushu Rally準備の支援／当日支援 (2021 (R3) 年11月6-7日開催)

- ・ 事前案内

- ⇒オフィシャル連絡名簿を用いて現役部員より個別に電話連絡実施
現役-OBでオフィシャル連絡名簿のメンテナンスを実施

- ・ 募集

- ⇒オフィシャル連絡名簿を用いて現役部員より個別に電話連絡実施

- ・ 最終確認とスケジュール連絡

- ⇒現役主導で前日ミーティングを実施

※当日支援 (S58高橋、S59小川、H1山下、H1永渕、H9森若 H22北垣、H23岩本、
福田、重富、H31有川、R2河本、R2川野、H17大庭、H17犬丸、H24石原、H29近
藤、R3横手他)

②第60回 ACK-KIT Kitakyushu Rally準備の支援(※開催日：2022年10月29-30日)

- ・ コースおよび問題の監修

- ・ 官公庁届出対応

- ⇒H24石原、S59小川 が支援実施

③競技参加支援

- ・ 活動援助金制度の運用 (H26年7月より運用開始)

- ⇒R3.10.2-3 九州ラリー選手権第6戦RC大分 (林/藤井、河本 (OB) /柴田) 、

- ⇒R3.12.11 全九州秋季学生ダートトライアル大会 (選手・応援者合計16名)

- ⇒R4.03.12～13 MCAラリー(藤井/林、河本/柴田、横手/原田)

- ⇒R4.03.21 RC熊本ジムカーナ(鶴田、藤井、山本、原田)

- ⇒R4.04.16～17 R10Nラリー(林/横手、近藤/藤井、河本/柴田)

- ⇒R4.05.03 全九州学生ダートトライアル大会(選手・応援者合計18名)

- ⇒R4.05.08 AMS宮崎ジムカーナ(藤井、山本、原田)

- ⇒R4.05.14～15 ACKラリー(藤井/猪熊、鶴田/佐々木、河本/柴田、横手/原田)

- ⇒R4.06.05 Vジムカーナ(鶴田、猪熊)

- ⇒R4.06.18～19 FMSCラリー(有川/赤嶺、横手/原田、河本/柴田)

- ⇒R4.06.25 全九州学生春季ジムカーナ大会(選手・応援者合計20名)

- ⇒R4.06.26 RASCALジムカーナ(猪熊)

- ⇒R4.07.31 T-OMジムカーナ(猪熊)

- ⇒R4.09.3～4 グラベルマインドラリー(有川/赤嶺、近藤/猪熊)

④日常練習の活性化

- ・ ラリーオフィシャル勉強会の開催

- ⇒R2河本主導でオフィシャルマニュアルを作成中

⑤親睦行事

- ・ 餅つき会 (2021 (R3) 年12月30日)

- ⇒山下(H1)、永渕(H1)、北垣(H22)、岩本(H23)、石原(H24)、飯田(H25)、穴井(H29)

- ・中野(H31)、有川(H31)、河本(R2)、近藤(H29中退)、重富、横手(R3)
- ⑥卒業生のフォロー
 - ・追出しコンパ
 - ⇒新型コロナ禍のため、追出し行事中止。
 - ・卒業後の連絡先の把握と各支部幹事への連絡
 - ⇒電気 豊村 渉（とよむら わたる）進学先：九州工業大学大学院 生命体工学研究科
- ⑦休眠OBの掘起し
 - ・メールアドレスの確認
 - ⇒近藤 員章 （H29中退）

今期の計画（2022（R4）年10月～2023（R5）年9月）（一部実施結果含む）

- ①第60回 ACK-KIT Kitakyushu Rally準備の支援／当日支援（2022年10月29-30日開催済み）
 - ・事前案内
 - ⇒オフィシャル連絡名簿を用いて現役部員より個別に電話連絡実施
 - ・募集
 - ⇒オフィシャル連絡名簿を用いて現役部員より個別に電話連絡実施
 - ※当日支援（S58高橋、S59小川、H1山下、H22北垣、H23岩本、福田、重富、H31有川、R2河本、R2川野、H17大庭、H17犬丸、H24石原、H29近藤、R3横手他）
- ②第61回 ACK-KIT Kitakyushu Rally準備の支援（※開催日：2023年10月下旬予定）
 - ・コースおよび問題の監修
 - ・官公庁届出対応支援
- ③競技参加支援
 - ・活動援助金制度の運用（H26年7月より運用開始）
- ④日常練習の活性化
 - ・ラリーオフィシャル勉強会の開催
- ⑤親睦行事
 - ・餅つき会（2022（R4）年12月30日）
- ⑥卒業生のフォロー
 - ・追出しコンパ
 - ・卒業後の連絡先の把握と各支部幹事への連絡
- ⑦現役OB交流会（OB総会中止の場合）
 - ・対面方式又はオンライン方式での交流会
- ⑧休眠OBの掘起し
 - ・メールアドレスの確認

OB会部活動援助費 会計報告

九州工業大学 自動車部

R4.04.01～R4.09.30

収入	金額	支出	金額
前期繰越		競技会出場援助費	
R4.04.01 受取利子		・ R4.03.12～13 MCAラリー 6名	
R4.05.13 OB会援助金		・ R4.03.21 RC熊本ジムカーナ 4名	
		・ R4.04.16～17 R10Nラリー 6名	
		・ R4.05.03 全九州学生ダートトライアル大会 18名	
		・ R4.05.08 AMS宮崎ジムカーナ 3名	
		・ R4.05.14～15 ACKラリー 8名	
		・ R4.06.05 Vジムカーナフェスティバル 2名	
		・ R4.06.18～19 FMSCマウンテンラリー 6名	
		・ R4.06.25 全九州学生春季ジムカーナ大会 20名	
		・ R4.06.26 RASCALジムカーナ 1名	
		・ R4.07.31 ジムカーナジュニア戦第4戦 1名	
		・ R4.09.3～4 グラベルマインドラリー 4名	
		小計	
		期末残高	
		・ 通帳残高	
		・ 手持ち現金	
		小計	
合 計		合 計	

貯金通帳残高、手持ち現金および支出記録に相違無いことを確認いたしました。

2022年10月10日

明専・九工大自動車部OB会 現役支援担当 山下

2022年度活動報告（R3/10-R4/9）

OB会 事務局 中西 （ 50）

【上期活動実績】		(敬称略)
令和3年	10/5	： 【遠隔役員会-KITAC-OB会】 「臨時書面審議総会」開催の件（オンライン） (伊東s44、山本s46、佐藤s46、川越s47、河野s49、山崎s49、中西s50、西s50、武地s51、 坂井s52、早田s54、孝橋s55、山下h1 計13名) (委任欠：田中s45、八木s45、長尾s48)
	10/8	： 「臨時書面審議総会」 開催通知発送 (中西s50:) 2年に一度の定例総会審議事項（第1号議案～第7号議案）について臨時で書面審議を実施。 結果は、全議案可決。12月発行「流星33号」に掲載の通り。
	10/16	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第1回準備委員会 開催 場所：デンソーDスクエア (川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、永田s52、小川s63 計6名)
	11/6-11/7	： 第59回ACK・KIT北九州ラリー2021 現役支援
	11/13	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第2回準備委員会 開催（オンライン） (川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、小川s63、穴井h29、 オブ出席：中西s50 計10名)
	11/23	： 【遠隔役員会-KITAC-OB会】 「臨時書面審議総会」結果報告の件（メール役員会）
	12/25	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第3回準備委員会 開催（オンライン） (川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、御領s63、穴井h29、 オブ出席：中西s50 計10名)
	12/25	： 流星33号 発行 (早田s54)
	12/28	： 部活動援助費令和3年度下期分 （R3.4.1～R3.9.30カンパ分）一括送金 ⇒OB会会計から14,000円（武地s51）
	12/30	： 餅つき会（現役との交流）徳尾モータースにて実施
令和4年	1/22	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第4回準備委員会 開催（オンライン） (川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、小川s63、御領s63、穴井h29、 オブ出席：中西s50 計11名)
	1/29	： 【関西地区主催中四国地区】 合同 新年会（オンライン） (関西 ：木庭s43、田中s45、山崎s49、中西s50、孝橋s55 小計5名) (中四国：嘉村s33、尾崎s42、八木s45、長尾s48、河本r1 小計5名) (計10名)
	2/12	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第5回準備委員会 開催（オンライン） (川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、小川s63、オブ出席：中西s50 計9名)
	3/26	： 【中四国地区】 地区幹事会開催 (八木s45、長尾s48、河本r1、オブ出席：尾崎s42 計4名)
	3/26	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第6回準備委員会 開催（オンライン） (川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、小川s63、御領s63、穴井h29、 オブ出席：中西s50 計11名)
【下期活動実績】		(敬称略)
令和4年	4/23	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第7回準備委員会&懇親会 開催 場所：デンソーDスクエア (河野s49、西s50、永田s52、坂田s54、小川s63、御領s63、穴井h29、 オブ出席：中西s50 計8名)
	5/12	： 【遠隔役員会-KITAC-OB会】 「中京地区主催 第11回OB会定例総会」の再延期、 並びに2022年度上期活動・会計実績審議及び活動状況報告の件（オンライン）
	5/13	： 部活動援助費令和4年度上期分 （R3.10.1～R4.3.31カンパ分）一括送金 ⇒OB会会計から157,000円（武地s51）
	5/14	： 中京地区主催の「令和4年（第11回）OB会 定例総会 再延期に関するお知らせ」 配信 5地区から地区単位で 全会員へ再延期のお知らせ 配信（5月～7月：メール又は郵送にて）
	8/27	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第8回準備委員会 開催（オンライン） (川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、穴井h29、 オブ出席：中西s50 計9名)
	9/24	： 【中京地区】 中京地区主催 第11回OB会総会の 第9回準備委員会 開催（オンライン） (川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、小川s63、 オブ出席：中西s50 計9名)

2022(R4)年度 OB会決算報告

OB会会計 武地 (51)

- 1 期間； 2021年10月1日から2022年9月30日
- 2 主たる活動（事務局報告ご参照方）
 - ・ 21年12月に流星33号を発行した。
 - ・ 22年秋のOB会総会は再延期になった。

3 決算概要

- ・ 【収入】会員各位からの振込み（会費、部活動援助費、OB会カンパの計）は、
年度予算
。
- ・ 22年度振込者数71名〈全員会費〉（21年度34名〈内22名会費〉/20年度58名〈全員会費〉）。
なお、振込票発送数は、22年度(21年12月)297通、21年度(20年12月)251通。
- ・ 【支出】流星印刷・発送費は、名簿強化に伴う発行部数の増加により予算を超えたが、
2021/12/16付け会長宛弊同いにて積極対応にご同意を得て実行済み(2022/3月中間決算で承認済み)。
- ・ 【収入・支出】現役部活動援助費は、
円（予算
）集まり、会員各位のご理解、ご協力に御礼申し上げます。3月中間決算で
円の送金承認受け、送金実行済み (5/13)。
同上前年度下期分
円を2021/12/28に現役に送金した。
- ・ 【今後の支出】部活動援助費の今期残金
円を本決算承認後に送金予定。
- ・ 【支出】OB会総会を延期したので、費用
円（総会準備費用、現役総会出席補助）を来期に繰り越す。

2021年10月1日～2022年9月30日

収入	金額	支出	金額
2021年度から繰越		振替手数料 e	
会費 a		現役交流費	
部活動援助費 b		OB 会総会準備費（延期）	
OB会カンパ c		流星33号印刷費 f	
		同 郵送代 g	
		事務費、通信費 h	
		部活動援助費 i	
		部活動援助費（前年度下期分） j	
		現役のOB会総会出席補助（延期）	
〔会員からの振込み小計 a+b+c〕		〔費用小計 e+f+g+h+I+j〕	
		2023年度への繰越	
合 計		合 計	

（参考）2022年度予算（承認済み額）

収入	金額	支出	金額
2021年度から繰越		振替手数料	
会費		現役交流費	
現役部活動援助費		OB会総会準備費用	
OB会カンパ		流星印刷費	
		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		現役のOB会総会出席補助	
〔本年度収入小計〕		〔費用小計〕	
		2023年度への繰越	
小計		小計	

会 計 監 査 報 告

会計監査 田中 (45)

会 計 監 査 報 告 書

令和 4 年 1 0 月 6 日

明専・九州工大自動車部OB会

会長 伊東 殿

令和 4 年 1 0 月 6 日 明専・九州工大自動車部OB会 会計に関する帳票・領収書などを精査しました。その結果令和 4 年度の決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監査

田中



2023年度活動計画（R4/10-R5/9）

事務局 中西 （ 50）

【上期活動計画（実績含む）】 （敬称略）

- 令和4年 10/22 : **【中京地区】**中京地区主催 第11回OB会総会の**第10回準備委員会開催（オンライン）**
 （川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、坂田s54、近藤s54、小川s63、オブ出席：中西s50 計8名）
- 10/29-30 : **第60回ACK・KIT北九州ラリー2022 現役支援**
- 10/29-11/15 : 現役の「課外活動団体を支援する大学オンラインチャリティーイベント参加」支援検討
- 11/7 : **【遠隔役員会-KITAC-OB会】**九工大チャリティーイベント参加について（オンライン）
 「役員会実施報告」の通り。
 （OB出席）伊東s44、山本s46、佐藤s46、川越s47、西s50、中西s50、武地s51 計7名
 （現役出席）柴田主務・OB担当（特別参加） （出席者合計8名）
- 11/25 : **【遠隔役員会-KITAC-OB会】**「令和4年度活動報告・令和5年度活動計画（案）」
 及び「令和4年度会計報告・令和5年度予算（案）」審議の件（メール役員会）
- 11/下 : 部活動援助費令和4年度下期分（R4.4.1～R4.9.30カンパ分）一括送金
 ⇒OB会会計から 予定（武地s51）
- 11/26 : **【中京地区】**中京地区主催 第11回OB会総会の**第11回準備委員会開催（現地）**
 イベントの予行演習
- 12/上 : **【遠隔役員会-KITAC-OB会】**「OB会 定例総会 再延期に係る名簿充実」
 及び「九工大チャリティーイベント不参加について」振り返り（オンライン）
- 12/24 : **【中京地区】**中京地区主催 第11回OB会総会の**第12回準備委員会開催（オンライン）**
 オンライン忘年会&予行演習の反省会
- 12/下 : **流星34号発行**予定（早田s54）
- 12/30 : 餅つき会（現役との交流）徳尾モータースにて実施
- 令和5年 1/上-下 : 各地区新年会等地区部会 開催予定（5地区ZOOM 他 開催予定）
- 2/下 : **【中京地区】**中京地区主催 第11回OB会総会の**第13回準備委員会開催**
- 3/下 : **【中京地区】**中京地区主催 第11回OB会総会の**第14回準備委員会開催**

【下期活動計画】 （敬称略）

- 令和5年 4/下 : **【遠隔役員会-KITAC-OB会】**「令和5年度 活動報告（上期）、会計報告（上期）」
 及び現役支援活動・支援金決算報告（上期）審議の件」
- 5/中 : 部活動援助費令和5年度上期分（R4.10.1～R5.3.31カンパ分）一括送金
- 5/下 : **【中京地区】**中京地区主催 第11回OB会総会の**第15回準備委員会開催**
 OB会定例総会開催通知第一報配信予定

役員人事

事務局 中西 (50)

令和3年10月8日、臨時書面審議総会での承認人事から変更はありません。

役員		⑩-1【令和3年10月8日以降】 R2/1/19 メール役員会での承認 R3/10/8 臨時書面審議総会での承認			⑩-2【令和3年10月8日以降】 R2/10/10 オンライン役員会での承認 R3/10/8 臨時書面審議総会での承認			⑩-3【令和3年10月8日以降】 R2/12/1 メール役員会での承認 R3/10/8 臨時書面審議総会での承認		
会長		伊東	(44)	留	伊東	(44)	留	伊東	(44)	留
副会長		河野	(49)	留	河野	(49)	留	河野	(49)	留
副会長										
九州	幹事	山本	(46)	留	山本	(46)	留	山本	(46)	留
	副幹事	犬丸	(H17)	留	犬丸	(H17)	留	犬丸	(H17)	留
	副幹事									
中四国	幹事				八木	(45)	新	八木	(45)	留
	副幹事				長尾	(48)	新	長尾	(48)	留
	副幹事				河本	(R1)	新	河本	(R1)	留
関西	幹事	山崎	(49)	留	山崎	(49)	留	山崎	(49)	留
	副幹事	三好	(62)	留	三好	(62)	留	三好	(62)	留
	副幹事	孝橋	(55)	留	孝橋	(55)	留	孝橋	(55)	留
中京	幹事	川越	(47)	留	川越	(47)	留	川越	(47)	留
	副幹事	西	(50)	留	西	(50)	留	西	(50)	留
	副幹事									
関東	幹事	中野	(46)	新	中野	(46)	留	中野	(46)	留
	副幹事	坂井	(52)	留	坂井	(52)	留	坂井	(52)	留
	副幹事	佐藤	(46)	留	佐藤	(46)	留	佐藤	(46)	留
	副幹事									
事務局		中西	(50)	留	中西	(50)	留	中西	(50)	留
会計		武地	(51)	留	武地	(51)	留	武地	(51)	留
会計監査		田中	(45)	留	田中	(45)	留	田中	(45)	留
会誌担当		早田	(54)	留	早田	(54)	留	早田	(54)	留
名簿担当		松元	(55)	留	松元	(55)	留	松元	(55)	留
名簿担当		西原	(54)	留	西原	(54)	留	(中西)	(50)	—
現役交流担当		山下	(H1)	留	山下	(H1)	留	山下	(H1)	留
現役交流担当										
H P担当		近藤	(54)	留	近藤	(54)	留	近藤	(54)	留
内容・理由		【内容】 関東地区の宮崎 幹事(39)が幹事を 退任し、中野 副幹事(46)に幹事を 交代する。 【理由】 関東地区の世代交代の一環である。 尚、中野 副幹事は了承し、出席者 の賛同を得た。			【内容】 「中四国地区」開設に伴い、下記の 幹事候補（地区幹事1名、副幹事2 名）が選出され、役員会で承認。 ▪ 幹事：八木 (45) ▪ 副幹事：長尾 (48) ▪ 副幹事：河本 (R1) 【理由】 ・中国（広島・山口他）地区の開設 による組織拡大のため。 ・分散交流による中国地区の交流強 化のため。			【内容】 西原 名簿担当 (54)が名簿担当 を退任し、従前から担当の松元 名 簿担当が主体に、事務局の中西 (50) が一緒に後継。 【理由】 名簿管理の仕組み作りは終了し、共 有化され利用できるようになった。 役員としての責務は果たしたので、 これを機に役員を辞したい旨、申し 入れがあった。事務局メール受理。		

1 期間： 2022年10月1日～2023年9月30日

2 予定行事
2023年秋 第11回OB会総会・懇親会(中京)
2022年12月 流星34号発行

3 予算(案) (円)

収入	金額	支出	金額
2022年度から繰越		振替手数料	
会費		現役交流費補助	-
現役部活動援助費		OB会総会準備費用	
OB会カンパ		流星印刷費	
		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		現役のOB会総会出席補助	
[本年度収入小計]		[費用小計]	
		2023年度への繰越	
合計		合計	

繰越金増加

説明(下表の過去実績参照方)

【収入の部】

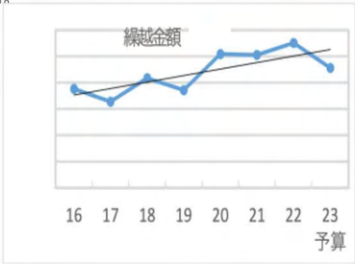
- 会費を毎年 集金にして2年目。振込人数の予測が難しく昨年予算と同じ。
- 現役部活動援助費(収入)：昨年予算と同じ前提。
- OB会カンパ：同上。

【支出の部】

- 振替手数料：郵貯銀行の手数料が高くなった後の2022年度実績並み。
*参考振替手数料：19/4/1からATM振込152円/件、窓口振込203円/件←従来各々80円、130円。
- OB会総会準備費：2023秋実施に延期。規定の。
- 流星発行費用：物価高騰のため印刷会社から見直し要望があり、他社での合い見積もりを実施し、それより安かったので認めたい。
- 事務費、通信費：過去2年平均並み。
- 現役のOB会総会参加補助：2023秋実施に延期。規定=中京地区まで往復新幹線指定席1名分。

【単年度収支】

- 単年度赤字は、総会援助費と現役出席補助と流星発行費用増
参考：繰越金変動(右図)



OB会収支履歴(2022年度実績追加)

【参考】							2022/9/30最新化		
収入実績							2015/9/1作成		
	部活動補助費下期分支払、計上を実績に変更						直近3年	直近3年	直近6年
	2022年度(R4)	2021年度(R3)	2020年度(R2)	31年度'19)	30年度	29年度	偶数年度	奇数年度	平均
会費									
現役部活動援助費									
OB会カンパ									
総会金剰余など									
小計									
参考：振込者数							直近3年	直近3年	直近6年
内 会費支払人数							偶数年度	奇数年度	平均
支出実績									
	2022年度(R4)	2021年度(R3)	2020年度(R2)	31年度	30年度	29年度			
振替手数料									
総会準備費									
流星印刷費									
同 郵送代									
事務費、通信費									
現役交流費、総会参加補助									
現役部活動援助費									
小計									
コロナで総会延期 コロナで総会延期							総会有 総会有		
年会費毎年 に変更									
収支									
32年度への繰越									

2022(令和4)年度('21/10-'22/9) OB会会費、部活動援助費、OB会カンパ 振込状況

主題の件につきまして、会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

なお、振込に際して手数料は各位の支払いでなく、OB会で払っています。額は、郵貯ダイレクト(手数料0円)、ATM(手数料152円)、窓口(手数料203円)です。ついては、郵貯ダイレクトまたはATMでの振込をお願いします。今年21名/71名中が窓口ご利用でした。

32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	

第11回OB会総会（令和5年）開催について

中京地区幹事 川越 (47)

副幹事 西 (50)

第11回OB会総会（懇親会）はコロナの流行がおさまらず、昨年、今年と中止とせざるを得ない状況で、今年は4月の中部地区第4回準備委員会で中止を決定。5月に会長名で皆様に連絡いたしました。

その後我々中部地区では来年に向けての準備委員会を8月から毎月オンラインで開催（8月27日、9月24日、10月22日）、協議を継続しております。基本的には今年開催予定で計画していたものを踏襲（カート大会の実施、宿泊は三河湾リゾートリンクス）の予定で内容を練っております。

そして11月26日には予行練習として 幸田サーキットにてカート走行を行うと共にトヨタ博物館を訪れ、しっかり確認しました（添付 写真）。今後の準備委員会で皆様が楽しんで頂けるようにするため、さらに協議していきます。今後も毎月準備委員会を開催の予定です。12月はオンライン忘年会を兼ねて実施します。

来年の日程につきましてはまだ決定はしていませんが WRCが開催される11月12日～16日を避けます（中京地区のホテルがとれない、もしくはとれても宿泊費が高くなるため）。多分翌週になるかと思います

総会の実施については、安心して参加できる状況になることが必須であると考えております。コロナは現在二類の感染症ですが、インフルエンザと同等の五類にしようという動きもあります。このようになれば開催も可能かと考えます。

来年度の開催の可否は今後のコロナの感染状況や政府の判断等を参考にして4月に決定する予定です。

コロナによる重症者は非常に少なくなっておりますが、安心できる状況ではありません。日頃気を配って感染しないように留意し、みんな元気で総会でお会いいたしましょう。



40年分の自動車雑誌

関西地区 橋 (40)

1978年10月。初めての新車・フォルクスワーゲン・ゴルフ（初代）・ディーゼルを購入しました。決めるにあたってはいろんな雑誌の記事を読み漁り（立ち読み）、ことに小林彰太郎さんのテスト記事がもっとも私の気持ちを後押ししてくれました。そんなことで、小林さんが編集長をしている自動車誌を毎月購読するようになりました。それが「カー・グラフィック」（以下CGと略します）です。

通称「谷田部のテストコース」の自動車試験場（当時）に新車を持ち込んでの性能テスト、編集部で購入しての長期実用走行テスト、海外一流ライターからの記事など、どれをとっても興味深いものばかりで、毎月発売日の一日になるのを待ちかねて本屋へ飛んでいき、家に帰るなり読みふけて、表紙裏の広告から、小さな記事に至るまでもあまらず目を通しました。

車のある意味で文化として、発達の歴史・技術を、単に国産車だけでなく海外にまで視野を広げてその国民性にまで踏み込んで取材・考察（少し大げさかもしれませんが）した雑誌として、私は数ある自動車誌の中でこの雑誌がもっとも好きになり、以来、どっぷりとこの本に浸かってしまい講読し続けてきました。

私の自動車趣味生活の大半をともにしてくれたゴルフ-Dは27年間・28万キロ走って、ディーゼル車の排ガス規制でとうとう車検を受けられなくなってしまい、05年7月に福山自動車博物館に涙とともに奉納しました。最後を看取るまで付き合うつもりだったこの車が我が家からいなくなってみると、何か気が抜けたよう気持ちになり（ペット・ロスと同じ感じです）車に対する興味が少しずつ薄れていったように思います。それでもCGだけは講読し続けて、結局、40年余も毎月欠かさずに講読しました。

現在、長年ため込んできたCGが狭い我が家の押し入れの四分の一をでーんと占めています。心配症の家人は、もし、再びあの阪神・淡路大震災のような地震がくれば、今回はその重みで床が抜けるのではないかと気をもんでいます。そんなことで、お願いします。どなたか奇特なお方、古い車の記事に興味をお持ちのお方、あるいはそのようなお方や組織・団体をご存じのお方、この雑誌を引き取り・引き継いでくださらないでしょうか？

※引き取り・引き継ぎに関する情報、ご提案をお願いいたします。

問い合わせ・連絡先：OB会本部事務局 中西

「OB会の継続発展のための活動」 及び 「OB会総会歴」 紹介

OB会事務局 中西 (50)

OB会員の皆様には、日頃からOB会の活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今回は、OB会が抱える重要課題「OB会の継続発展のための活動」として1)「平成の若い世代のOB会参画」について、及び2)「若い方々との日頃からの連携、交流、声掛け」について、並びにコロナ禍で延期になっております「OB会総会」の発足から現在に至る開催履歴について簡単にご紹介いたします。

◆「OB会の継続発展のための活動」

OB会の継続発展のためには、「平成の若い世代がOB会に参画」することが喫緊の重要課題であり、従前から求められてきました。

若い方々へ連絡するための「名簿の充実」は必要不可欠であり、現在、各地区が主体となって取り組んでいただいております。

また、「平成の若い世代がOB会に参画」するには、どのような活動が必要かについてもメール役員会で取り上げ、討議し、協議して参りました。下記に簡単に記述させていただきます。

(2020年メール役員会議事録抜粋)

1)「平成の若い世代のOB会参画」について

「九州地区主催総会実行委員会若くは多く巻き込んだ準備が実現しており、その手法を参考にさせていただく」ことになり、討議の結果、九州地区の事例をはじめ、役員から多くの意見が出された。これらの討議、協議結果を参考に、各地区での状況を鑑み、地区としての意向をまとめていただく。

それらをベースに必要な全体的な取り決めや仕組み、その運用推進等について対応策を展開していく。

2)「若い方々との日頃からの連携、交流、声掛け」について

「従来からのイベント開催時においても、どのような声掛けをしていくか。日頃から若い方々に限らず、地区会員への声掛けをしていくこと」や現役交流担当役員の山下(利)さんからも「卒業した若い方々への声掛けを現役支援活動報告(連絡先も添付されている)の中で、提案されているので、各地区での地道な声掛け活動を...。」について、討議の結果、役員から貴重な意見が出された。これらから、先ずは、「名簿充実」に向けて、担当役員で「仕組みづくり」を実行していただく。

事務局では、上記の「仕組みづくり」に関連する、「年次(学年)幹事や年代別連絡委員の選任、設置」について対応する。

次に各地区役員で「若い方々との日頃からの連携、交流、声掛け」についてどう取り組むかを検討していただく。

(次ページへ)

◆OB会総会歴

総会歴	開催地区	開催年月	備考
第1回	九州	S42年1/14(1967年)	部室でOB5名と現役が集まり、第1回総会実施と記録あり(流星第15号、流星記念特別号)
第2回	九州	H15年11/23('03年)	【第2回総会(実質初回総会:参加者36名)開催に至るまでの各地区OB会・総会準備会歴】
第3回	中京	H17年11月('05年)	・H10年6月中京9名
第4回	関東	H19年11月('07年)	・H11年2月関東27名
第5回	関西	H21年10月('09年)	・H15年3月関東19名
第6回	九州	H23年10月('11年)	・H15年3月中京11名(総会の地区持ち回り制提案あり)
第7回	中京	H25年10月('13年)	・H15年5月24日と11月1日に小倉にて 総会準備会開催 [出席者/敬称略:前田(32)、嘉村(33)、 吉武(39)、伊東(44)、桂(H7)]
第8回	関東	H27年9月('15年)	H15年11月23日第2回総会開催(九州地区)
第9回	関西	H29年10月('17年)	
第10回	九州	R元年10月('19年)	
第11回	中京	R3年〇月('21年)	R2年2月15日中京地区新年会&総会開催結末会開催

残念ながら、変異し続けるコロナウィルスの影響を受け、令和3年に開催を予定して
いました「第11回中京地区主催のOB会 定例総会」は、各地区からのお知らせの通り、
新しい年の令和5年の秋へ再延期となりました。

また、ご承知通り、第12回OB会 定例総会は、新しく開設された中四国地区の主催で令和7年（2025年）に開催される予定です。OB会員の皆様におかれましては、ご期待いただきたく存じます。

明専会2020基金事業 部活動応援事業 受賞

文責者：一般社団法人明専会事務局

明専会部活動応援事業 令和4年度 採択団体発表 2020基金事業 ～母校愛・同窓の絆強化～

令和4年度 明専会部活動応援事業につきまして、厳正なる審査の結果、下記の団体が採択されましたのでご報告致します。

- アメリカンフットボール部
- 航空部
- 自動車部
- 水泳部
- 少林寺拳法部
- 硬式野球部
- サッカー部
- 軽音学部 サンダーボーイズジャズオーケストラ

また、令和4年3月19日（土）に部活動応援事業 令和4年度贈賞式をオンラインにて開催致しましたので併せてご報告致します。今年度はオンラインでの贈賞式開催となりましたが、明専会会長 高原正雄様より賞状と目録が授与され、学生の喜ばしい表情をリアルタイムで見ることができました。

今後も本事業を通して、学生と明専会会員の絆がより強いものになるよう、支援していきたいと思います。

採択された団体には九州工業大学を代表する部活動として、今後ますますの活躍を期待しております。



2022/3/19（土）部活動応援事業 R4年度贈賞式の様子

会員名簿

本会員名簿は個人情報となりますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

- ・住所が空欄の方は、連絡方法がございません。ご存知の方がいらっしゃいましたら、ご本人様に、会誌担当の早田へ連絡(最終ページ)していただくようお願いいたします。
連絡先は流星の配布または、自動車部OB会の連絡のみに使用いたします。
- ・住所やEメールアドレスに変更がある方、氏名／住所の記載を希望しない方も、ご連絡下さい。

【物故者】

【会員名簿】

学科	卒年	氏名	学科	卒年	氏名	地域	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	地域	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	地域	都道府県	都市
----	----	----	----	----	----	----	------	----	----	----	----	----	------	----	----	----	----	----	------	----

学科	卒年	氏名	地域	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	地域	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	地域	都道府県	都市
----	----	----	----	------	----	----	----	----	----	------	----	----	----	----	----	------	----

【編集後記】

今年度のOB会会費の振込者を見て、懐かしい方々がいるので大変嬉しかったです。振り込めるということは元気に生活していることですね。機会があれば、OB会総会でお会いしたいですね。(早)

発行日 2022年12月25日
 発行者 九州工業大学責善会自動車部
 主将 山口
 明専・九州工大自動車部OB会
 会長 伊東 (44)
 編集者 早田 (54)

口座番号

明専・九州工業大学自動車部OB会ホームページ

<http://himaob7.kagebo-shi.com/index.html>

一般公開部分は、どなたでも見ることができます。

過去の自動車部資料から現在のOB会の活動まで幅広くカバーしています。

管理者：HP担当役員 近藤 (54)

